



令和元年12月26日(木)
久慈川・那珂川流域における
減災対策協議会
那珂川下流域における減災対策部会
那珂川上流域における減災対策部会



記者発表資料

令和元年台風第19号を踏まえた 「那珂川緊急治水対策プロジェクト 【中間とりまとめ】」を公表します。

～地域が連携し、多重防御治水により、社会経済被害の最小化を目指す～

令和元年台風第19号において甚大な被害が発生した那珂川水系における今後の治水対策の方向性として、関係機関が連携し「那珂川緊急治水対策プロジェクト【中間とりまとめ】」をとりまとめました。

「那珂川緊急治水対策プロジェクト【中間とりまとめ】」の概要

○以下の2つを柱として取り組んでいきます。

- ①多重防御治水の推進
- ②減災に向けた更なる取組の推進

※詳細については、別紙をご覧ください。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、茨城県政記者クラブ、栃木県政記者クラブ

問い合わせ先

久慈川・那珂川流域における減災対策協議会
 <那珂川下流域における減災対策部会> 事務局
 <那珂川上流域における減災対策部会> 事務局
 国土交通省 関東地方整備局 常陸河川国道事務所
 那珂川緊急治水対策推進室長 ほりうち 輝亮 てるあき
 調査第一課長 よしひけ 弘晶 ひろあき
 TEL.029-240-4061 (代表)

那珂川緊急治水対策プロジェクト【中間とりまとめ】

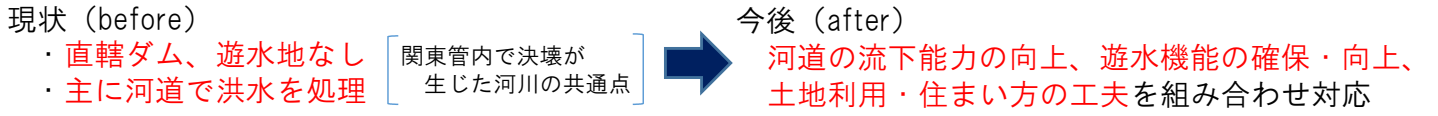
～地域が連携し、多重防御治水により、社会経済被害の最小化を目指す～

水戸市 ひたちなか市 常陸大宮市 那珂市 茨城町 大洗町 城里町 大田原市 那須烏山市 茂木町
 市貝町 那珂川町 茨城県 栃木県 気象庁水戸地方气象台、宇都宮地方气象台 常陸河川国道事務所

令和元年台風第19号において甚大な被害が発生した那珂川における今後の治水対策の方向性として、関係機関が連携し「那珂川緊急治水対策プロジェクト【中間とりまとめ】」をとりまとめました。引き続き、具体化に向けた検討を行ってまいります。

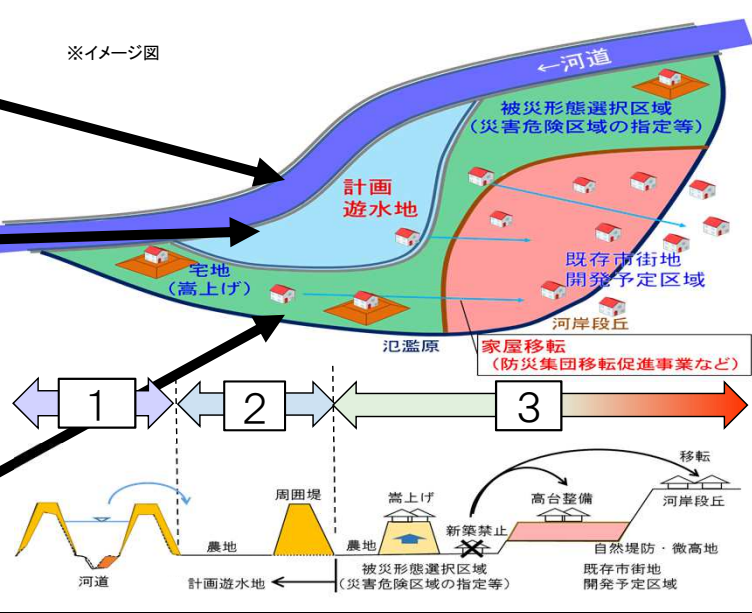
① 多重防御治水の推進（関東流治水システムの踏襲）

【参考】『多重防御治水』とは
 地域と連携し、
 ①河道の流下能力の向上による、あふれさせない対策
 ②遊水機能の確保・向上による、計画的に流域にためる対策
 ③土地利用・住まい方の工夫による、家屋浸水を発生させない対策
 が三位一体となって社会経済被害の最小化を目指す治水対策



河道	三位一体の対策	1 河道 の流下能力の向上 ○河道内の土砂掘削、樹木伐採による 水位低減 ○堤防整備（掘削土を活用）
		2 遊水機能 の確保・向上 ○地形や現状の土地利用等を考慮した 遊水地・霞堤の整備 ※遊水地については、外水（国管理河川・県管理河川など）、内水の両方に対応する遊水地（仮称 ハイブリッド型遊水地 ）を検討 ○現存する 霞堤の保全・有効活用
		3 土地利用・住まい方 の工夫 ○浸水が想定される区域の 土地利用制限 （災害危険区域の設定等） ○ 家屋移転 、住宅の嵩上げ（土地利用一体型水防災事業、防災集団移転促進事業等） ○高台整備

※各地域の特性に合わせてメニューを検討



② 減災に向けた更なる取組の推進

<課題>
 同時多発的な被害発生により、情報が膨大となり、状況把握・情報伝達・避難行動が円滑に進まない

<今後の方向性>
 関係機関等が連携し、円滑な水防・避難行動のための体制等の充実化を図る

- <主な取組メニュー>
- 重要度に応じた情報の伝達方法の選択及び防災情報の共有化のための取組
 - 氾濫を監視する機器の開発・整備
 - 危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの設置
 - 関係機関が連携した水害に対する事前準備のための取組
 - タイムラインの改善
 - 講習会等によるマイ・タイムライン普及促進
 - 要配慮者利用施設の避難確保計画作成講習会と訓練実施
 - 緊急排水作業の準備計画策定と訓練実施



那珂川における浸水被害状況

令和元年台風第19号の一般被害状況(那珂川水系那珂川)

○那珂川では令和元年台風第19号において、**国管理区間では、3箇所**で堤防が決壊し、**浸水面積約3,341ha、浸水家屋2,025戸**となる大規模な浸水被害となりました。**県管理区間でも藤井川や荒川など複数の河川で堤防が決壊しました。**



浸水被害状況(栃木県那須烏山市)



浸水被害状況(茨城県那珂市・城里町)



浸水被害状況(茨城県水戸市)



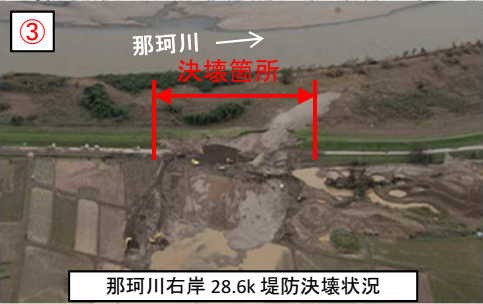
【位置図】



那珂川右岸 41.2k 堤防決壊状況



那珂川左岸 40.0k 堤防決壊状況



那珂川右岸 28.6k 堤防決壊状況

	令和元年台風第19号
浸水家屋	2,025 戸
浸水面積	3,341 ha

- 凡例
- 浸水範囲
 - ✕ 堤防決壊箇所(国)
 - ✕ 堤防決壊箇所(県)
 - ↔ 大臣管理区間

※浸水家屋数は那珂川沿岸自治体の被害戸数(住家のみ)の合計値(茨城県HP 令和元年台風第19号に係る災害対応について 令和元年12月6日15時00分現在 より)
 (栃木県HP 栃木県災害対策本部会議資料 令和元年12月6日14:00現在 より)
 ※今後、数値が変更になる場合があります。

令和元年台風第19号を踏まえた 「那珂川緊急治水対策プロジェクト」

～地域が連携し、多重防御治水により、社会経済被害の最小化を目指す～

【中間とりまとめ】

参考資料



水戸市、



ひたちなか市、



常陸大宮市、



那珂市、



茨城町、



大洗町、



城里町



大田原市、



那須烏山市、



茂木町、



市貝町、



那珂川町

茨城県、栃木県

気象庁 水戸地方気象台、宇都宮地方気象台

常陸河川国道事務所



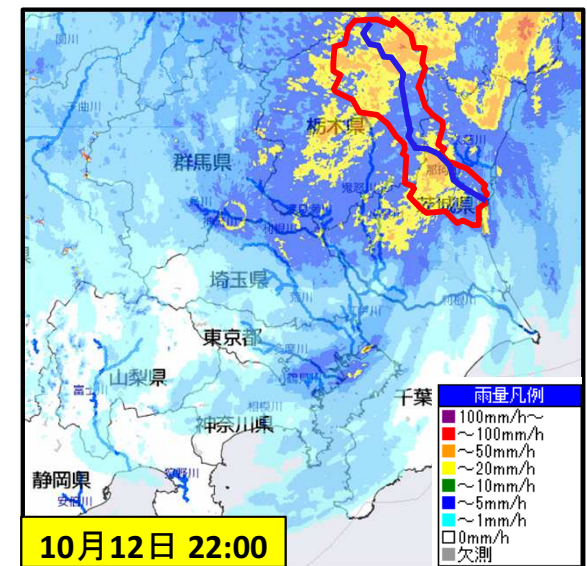
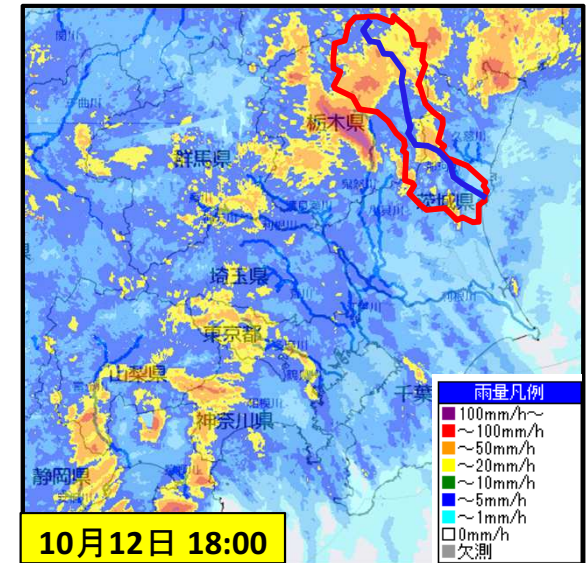
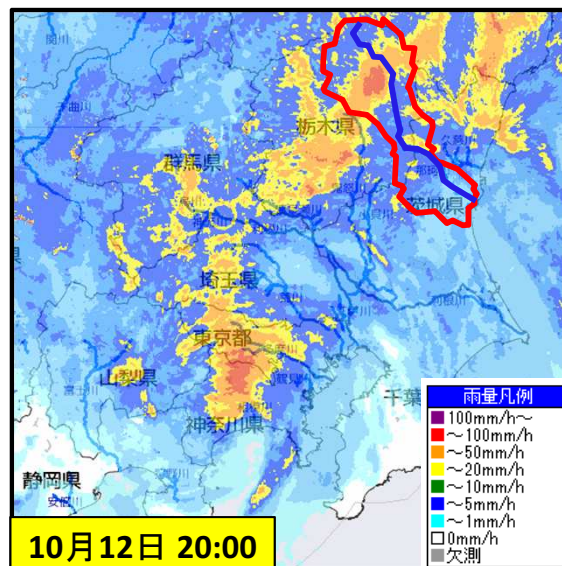
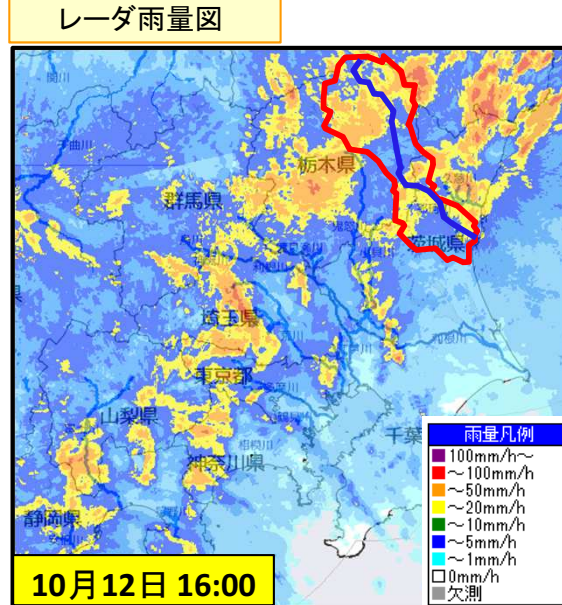
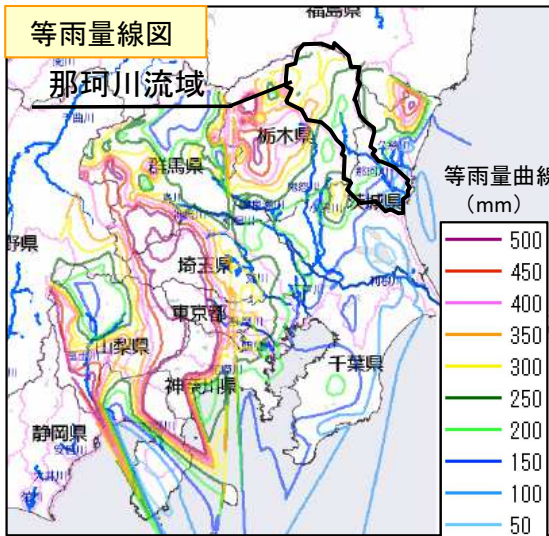
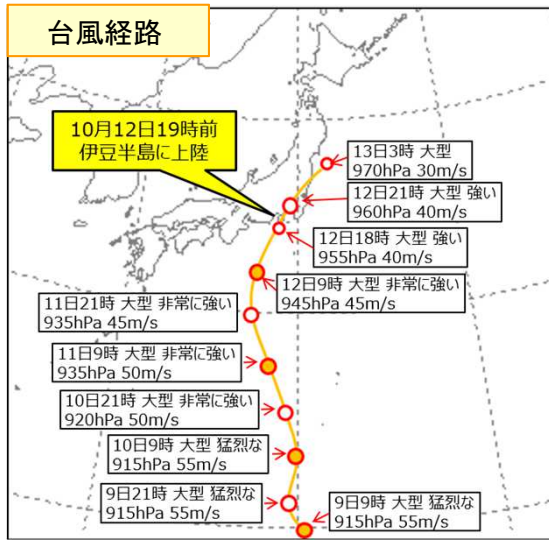
令和元年12月26日

①那珂川水系における令和元年台風第19号の概要	・ ・ ・ P 2
②ー 1 多重防御治水の推進	・ ・ ・ P 2 3
②ー 2 減災に向けた更なる取組の推進	・ ・ ・ P 2 9

①那珂川水系における
令和元年台風第19号の概要

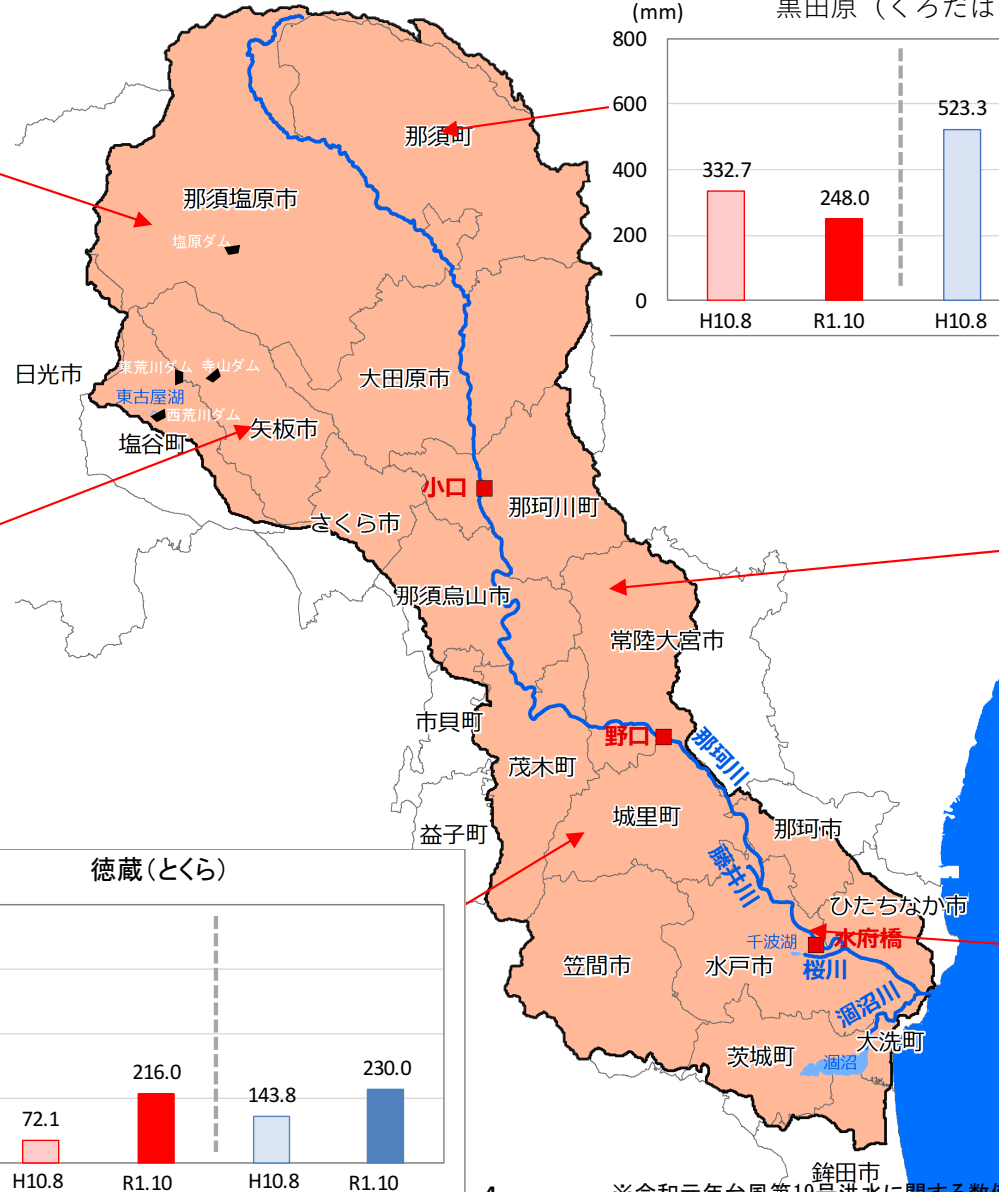
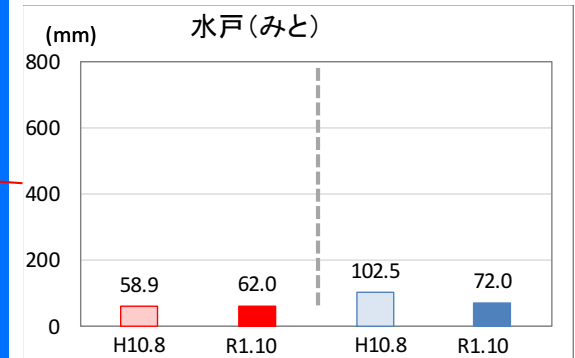
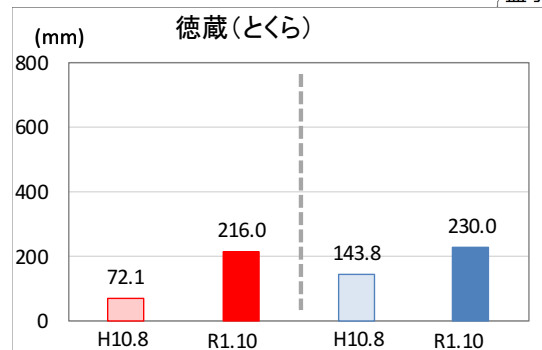
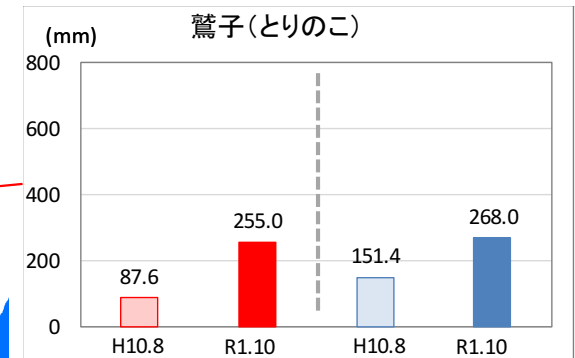
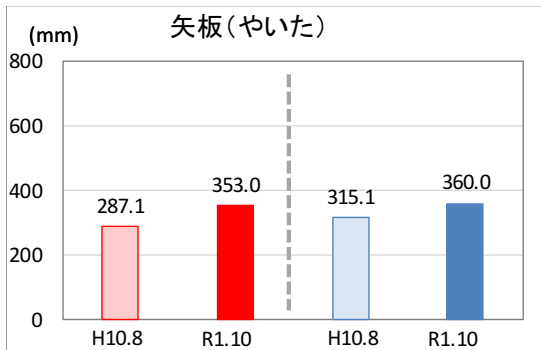
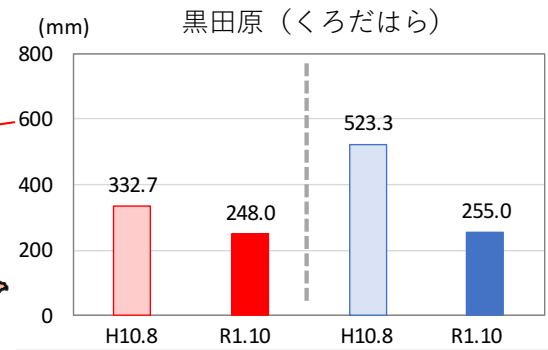
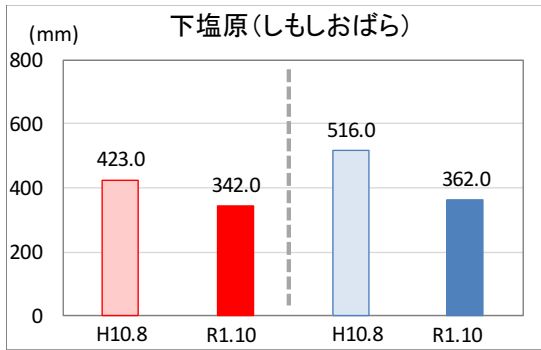
令和元年台風第19号の概要について

○大型の台風第19号が関東地方を直撃し、広範囲で強い雨が降り続いた影響で記録的な大雨となりました。



令和元年台風第19号の概要について

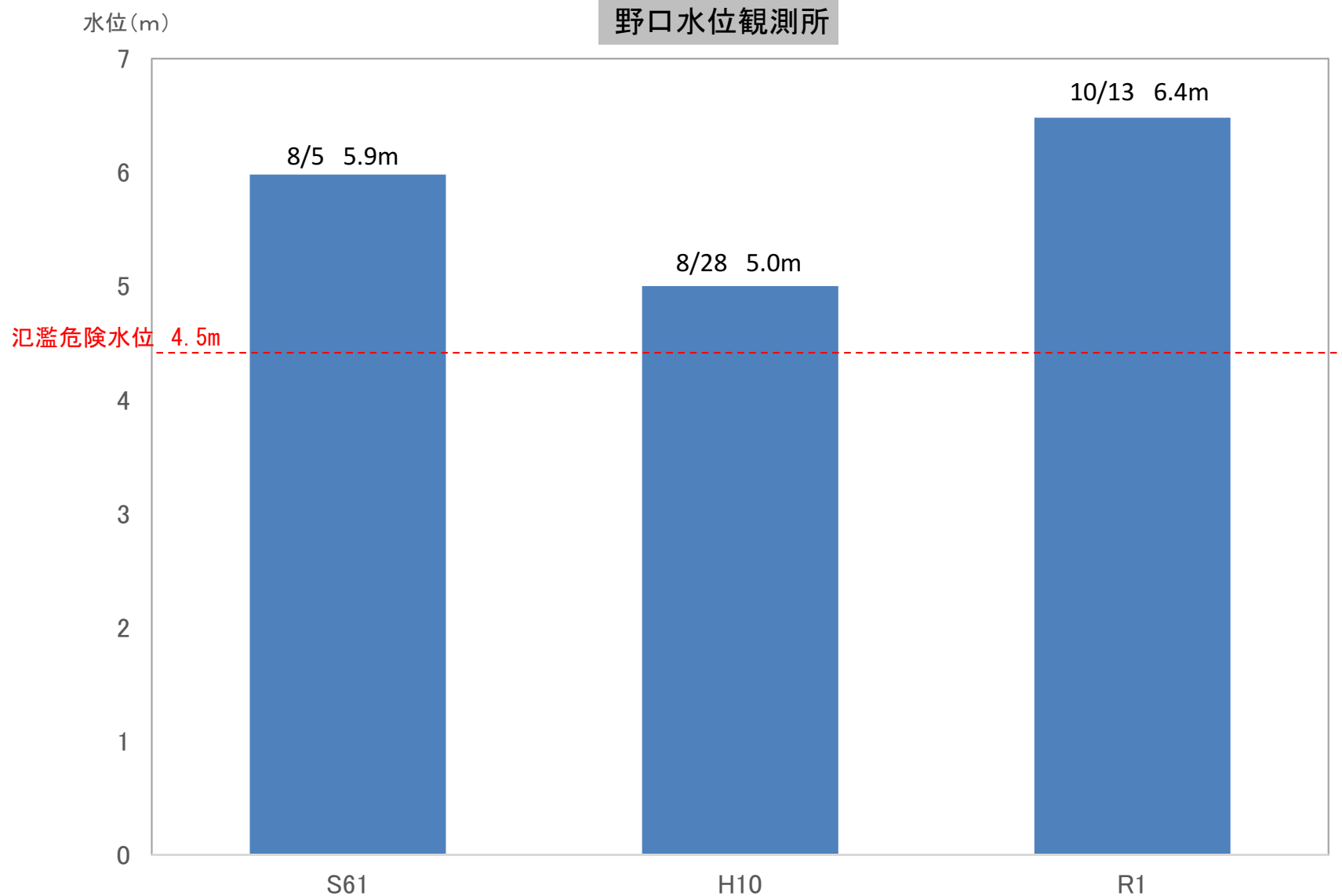
○那珂川流域では、矢板(やいた)雨量観測所等の主要観測所において、近年の主な洪水(H10(1998年))を上回る雨量を観測しました。



- : 日雨量 (H10.8洪水)
- : 日雨量 (今回洪水)
- : 2日雨量 (H10.8洪水)
- : 2日雨量 (今回洪水)

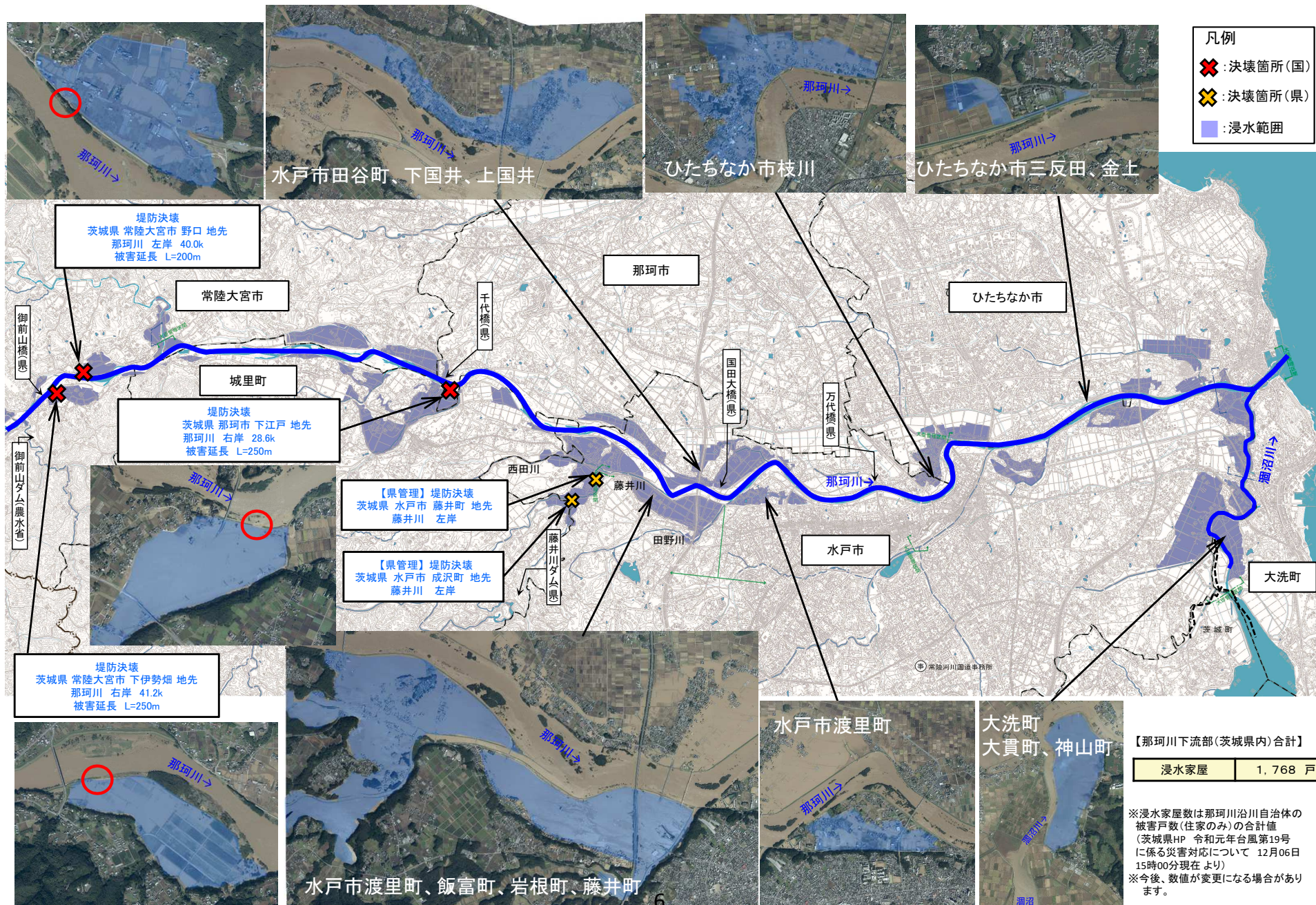
令和元年台風第19号の水位の概要（那珂川水系那珂川）

○那珂川水系那珂川野口水位観測所において、氾濫危険水位を超過し、10月13日6時00分に 既往最高のピーク水位6.4mを記録しました。
(氾濫危険水位：洪水により相当の家屋浸水等の被害を生じる氾濫の恐れがある水位)



令和元年台風第19号による被災状況（那珂川水系那珂川）



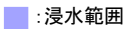
○那珂川では河川水位が氾濫危険水位を大幅に超過し、堤防の決壊及び越水・溢水被害が発生しました。



令和元年台風第19号による被災状況（那珂川水系那珂川）

○那珂川では河川水位が氾濫危険水位を大幅に超過し、堤防の決壊及び越水・溢水被害が発生しました。

凡例

-  : 決壊箇所(国)
-  : 決壊箇所(県)
-  : 浸水範囲

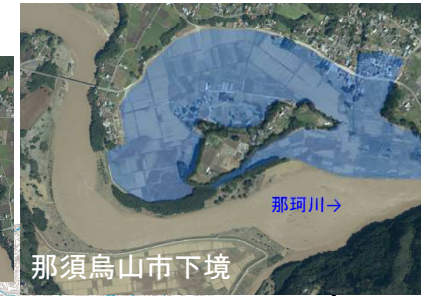
那須烏山市興野



那須烏山市宮原



那須烏山市上境



那須烏山市下境

那珂川町久那瀬



大田原市



那珂川町



那珂川町



【県管理】堤防決壊
栃木県 那須烏山市 小倉 地先
荒川 左右岸

【県管理】堤防決壊
栃木県 那須烏山市 藤田 地先
荒川 左岸

【県管理】堤防決壊
栃木県 那須烏山市 藤田 地先
荒川 左岸

那須烏山市



荒川



那須烏山市



那珂川



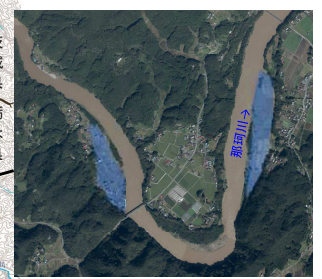
茨城県



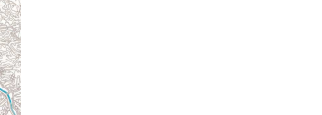
栃木県



茂木町河井



茂木町大瀬



【那珂川上流部(栃木県内)合計】

浸水家屋	257 戸
------	-------

※浸水家屋数は那珂川沿川自治体の被害戸数(住家のみ)の合計値(栃木県HP 栃木県災害対策本部会議資料 令和元年12月6日14:00現在 より)
※今後、数値が変更になる場合があります。

那須烏山市表、城东



那須烏山市野上、初音



那須烏山市向田、野上

